

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成25年4月9日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4672100189
法人名	株式会社 一幸
事業所名	グループホーム みどりの郷
所在地	鹿児島県南九州市颯娃町上別府4627番地 (電話) 0993-28-2250
自己評価作成日	平成25年3月12日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者の住み慣れた環境や状況に配慮し、グループホームでの生活に生きがいを感じ、気ままに生活して頂けるような環境作りに努めている。

隣接する小規模多機能型居宅介護事業所と合同で行事を行い、多くの人と触れ合うことができるよう努めている。

畑もあり、一緒に野菜を作り、成長や収穫をともに喜び、利用者の知恵をいただきながら料理やお菓子里に調理して食することを楽しんでいる。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL <http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46>

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成25年3月28日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・当事業所は住宅街に位置し、小規模多機能ホームが隣接している。周辺には小学校や中学校・保育園・ゲートボール場・郵便局・公民館・各種商店などがある。各地への交通の要衝で利便性に富み、ホームの利用者が地域住民とふれあいながら生活できる環境にある。

・災害対策として定期的に避難訓練を実施し、安全対策の施設整備もされている。市の火災訓練にも参加するなど、地域との防災体制が確立している。

・ホームは自治会に加入し、地域の一員として日常的に交流している。また地区公民館で地域住民へ「介護保険制度」についての勉強会や「認知症サポーター養成講座」を開催して、悩みや質問を受けたり情報の交換をして地域に貢献している。

・管理者は職員の資質向上を目指して、研修等への出席を奨励している。職員の離職が少なく、利用者との関係が築かれており、安心した生活が送られている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	職員で話し合った理念をもとに、利用者と職員が地域との関わりの中で、自然に生活できるような取組んでいる。	職員全員で話し合っ、地域との関連性を重視した独自の理念を作りあげている。玄関やリビングに掲示し、ミーティングや会議等で理念を確認し合い、実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らされ続けるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	利用者とともに地域の商店へ買い物に出かけたり、地域行事への参加や事業所の行事や防災避難訓練への参加を通し地域との交流に努めている。	ホーム及び利用者が地域の行事に積極的に参加したり、ゲートボールの練習見学などを通して交流している。保育園児や中学生の体験学習を受け入れている。認知症サポーター養成講座開催などを行い、地域貢献をしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の方々を対象に、認知症サポーター養成の協力を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議ではホームの活動状況の他、ご家族からの意見要望苦情等報告し、参加者からの質問、意見、要望なども伺い、サービスの向上に努めている。また、取り組みの結果も報告している。	会議は家族代表や地域代表・行政の担当者・自治会長・事業所関係者等が参加している。外部評価の報告や事業運営の報告を行い、出席者から理解と協力を得ると共に、そこでの意見をサービス向上につなげ、ホーム便りで全家族に報告している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議に参加していただき、日々の状況や取組について報告している。	市の担当者とは、窓口に向いホーム便りを届けたり、相談やアドバイスをもらっている。運営推進会議への参加がある。事業所を市の消防訓練の場所に提供したり、地域包括支援センターと協働し、認知症サポーター養成講座を開催し、連携を密に取っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束についての勉強会を行い、全職員で正しく理解するように努めている。また、重要事項説明書に「身体拘束は行わない」等明示し、身体拘束を行わないケアを実践している。	指針やマニュアルを基に、勉強会を行い、身体拘束ゼロを実施している。日中は玄関の施錠はせずに、職員の見守りで支援している。事故防止のために、身体拘束についてはマニュアルに従って適正に取り組んでおり、家族に説明し同意書を得ている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ホームでの勉強会を通して全職員で正しく理解するよう努めている。また、また、日常のケアの中で利用者の精神的・肉体的な障害になるようなことがないか検討している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	日常生活自立支援事業を利用されている利用者もいらっしゃるため、その都度権利擁護に関する制度について学習している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入所時、重要事項説明等は詳細に説明を行い、利用者・家族等の納得を得られた上で、契約を結んでいる。入所後も利用者・家族等からの要望及び改善等で必要と思われた時には随時、文書等にて説明を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者、ご家族からの意見や要望は運営推進会議やたより等で報告し、改善に向け話し合っている。相談窓口として介護相談室を設けた。</p>	<p>利用者からは日常会話の中から汲み取ったり、家族からはアンケートを実施したり、相談窓口として介護相談室を設けている。レクリエーション充実の要望があり、意見や提案を聞き、出された意見や要望等は、職員会議で話し合い運営に反映している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員会議や朝礼などで意見交換を行っている。また定期的に個人面談を行い、意見や提案を聞く機会を設けている。</p>	<p>代表者や管理者は、朝礼や職員会議を利用して、意見を聞いている。年2回の個人面談日を設けて、職員の意見や提案を聞き、すみやかに反映するようにしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者は定期的に事業所を訪問し、職員の努力や能力、勤務状態の把握に努めている。スキルアップのための研修への参加の機会を提供したり、給与等にも配慮を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>事業所外で行われる研修会には、職員が交互に参加し、全職員の意欲や能力に応じて研修を受ける機会の確保に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他施設への見学や交流会への参加を通じ、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>利用前に本人と面談し、生活環境や身体状況、生活状態等の把握に努め、信頼関係作りに努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族や相談に来られた方の困っていることや不安な事などについて、利用相談や利用申込みの際などに伺い、利用に対する不安等なく利用できるように努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談を受けた際、本人や家族の状態を把握し、利用できる他のサービスの紹介など、その時に出来る限りの支援をしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>昔ながらの習慣や習わし、農作業、料理の方法や味付けなど教えていただいたり、意見を参考にしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事や面会に来られた際、日常生活の様子などの情報を家族と共有し、電話をかけたたりしながら一緒に支えていく関係づくりに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	何時でも面会ができる体制を整えている。時には、自宅へ一緒に行ったり、買い物に出かけたりしている。	面会者も多く、行きつけの理・美容院や買い物、馴染みの友人や知人との関係が途切れないよう働きかけている。隣接の小規模多機能型事業所の利用者と親しくなり、訪問して楽しい交流をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握し、職員は情報を共有している。情報をもとに、食事の席順や入浴の順番などに配慮している。また、場合によっては職員が間に入りコミュニケーションが円滑に行えるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居先や家族への詳しい情報提供を行うとともに、サービス利用後も面会や見舞い等により、関係性の継続に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の関わりの中で、表情、言動などを感じて、声掛けやレクリエーション等により意思疎通を図り、定期的にアセスメントを行っている。	日常会話や表情・些細なしぐさなどから思いや意向の把握に努めている。意思疎通の困難な利用者にも、職員間で情報共有シートを活用して、利用者に関する情報を共有し、本人中心の支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時や面会時などに、家族から今までの生活歴の聴き取りを行うとともに、本人の日頃の会話からも情報を得るように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	普段の生活の中で、本人のできないことを把握し、情報の共有に努め、一人ひとりの生活のリズムを尊重し支援している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人の意向や家族の意向を聞き、それぞれの意見を反映させた計画を作れるように努めている。協力医療機関の看護師や主治医からもしばしば意見を頂いており、介護計画に反映させている。	本人や家族の意向を汲み取って、情報共有シートを活用し、担当者が介護計画を作成している。3ヶ月ごとにモニタリングを行い、主治医や看護師の意見を参考にして、職員全体でカンファレンスを行い、状態変化時は随時見直しをして、現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別の経過記録を用意し、日勤者、夜勤者が日々の様子を記録している。また情報共有シートを活かしながら情報を共有し、日々のケアにいかしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人家族などの状況や要望に応じて病院受診や自宅訪問等必要な支援に柔軟に対応している。また近隣の医療機関と医療連携体制を結んでおり、看護師による健康管理を行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>自治会の公園を利用している。近隣の保育所とも交流し、散歩の際には遊びにきてもらっている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>協力医療機関を確保しており、受診は職員が同行している。また、歯科、皮膚科に関しては往診していただいている。</p>	<p>本人や家族が希望するかかりつけ医の受診を支援している。受診は家族の協力を得たり、職員が同行している。協力医療機関から看護師が毎週来所し健康チェックをしている。歯科や皮膚科は往診を依頼している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>看護職員は、口頭の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日常的には、看護資格を持つ職員が中心となり健康管理に努めているとともに、協力医療機関の医師や看護師に健康面での相談を気軽に行える関係づくりに努めている。また、定期的に情報交換を行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院した際にはこまめに面会に行き、利用者の不安解消に努め、本人や家族の希望を聞きながら病院との連携を図っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した場合や終末期のあり方について、入居時や状態の変動があったときに、ご家族への説明を行い、全員での支援の方針を共有している。</p>	<p>重度化や終末期の対応について、指針やマニュアルがあり、本人や家族とよく話し合うとともに、重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し、同意書をもっている。また状況に応じ、繰り返し話し合い、意思を確認している。協力医療機関との連携も取れている。職員全員が日頃から共有している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>年に1回消防署に要請し、救急救命士による実施指導を受けている。また、普段から協力医療機関の看護師等に相談、指導を頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に通報訓練や避難訓練を行い、利用者を円滑に避難させられるよう努めている。また、地域の方の協力をお願いし、地域での防災訓練などがある際には参加を行っている。</p>	<p>毎年、消防署の指導のもと、昼夜間想定避難訓練を、市の防災訓練と一緒に実施している。3ヶ月毎に自主訓練も行っている。防災無線の活用や地域住民との協力体制も整っている。スプリンクラーや通報装置も設置されている。災害用の備蓄もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>職員会議や朝礼等で話し合い、個人のプライドやプライバシーを尊重した声掛けや対応に配慮するように心掛けている。</p>	<p>日々の関わりの中で、利用者の尊厳とプライバシーに配慮したケアや言葉かけに努めている。対応マニュアルがあり、会議や勉強会等で意識の統一を図っている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>レクリエーションなどの参加や入浴の有無、食事形態など日常生活の中で利用者の希望や意見交換を表せる雰囲気作りを心掛けている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>起床時間や食事の時間など利用者が自分のペースで行えるよう柔軟な対応を心掛けている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>その人らしさを大切に、好みの髪型や服装ができるように配慮している。また、本人と家族と相談し希望に合わせて苑に理美容師に来てもらっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	調理の下ごしらえや食器洗いなど、利用者の力に応じた手伝いを頂くよう心掛けている。また、職員も同じ食事をとり、楽しい雰囲気作りを心掛けている。	敷地内で育てた野菜などを利用者と一緒に収穫したり、差し入れの野菜などを使い、利用者の嗜好に配慮した献立を作っている。可能な範囲で、準備や後片づけを利用者と職員と一緒にやっている。行事食を楽しんだり、会話をしながら食事の支援を行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人一人の一日の大まかな食事・水分摂取量を把握している。また、基本の献立を栄養士に立てていただき、状態に応じて、とろみをつけたり、食材の大きさを検討する工夫をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の歯磨きの声掛けを行い、利用者の状況に応じ、見守りや介助など支援している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を作成し、排泄パターンの把握に努め、利用者の状況に合わせて、声掛けや誘導を行い、失敗を少なくし、トイレで排泄できるよう支援している。	一人ひとりの排泄パターンを把握しながら自尊心に配慮し、声かけしてトイレでの排泄を大切にしている。おむつを減らす取り組みを行い、排泄の自立を支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食材の工夫や体操など適度な運動を通じて、自然な排便がおこなえるように支援している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	利用者の入浴日は一応決めてはいるが希望があれば入れるようにしている。身体状況に応じて足浴、清拭も支援している。	入浴は週に3回の計画で、個々人の希望に添った入浴ができるように支援している。状況に応じて個浴や足浴・清拭を行う等、柔軟に支援し清潔保持に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日光浴やレクリエーション、体操など日中の活動を通して生活リズム作りをしている。また休息したいときには、自由に休めるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者一人ひとりの薬の情報シートを保管し、用法や副作用等について把握に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	農作業や家事の経験を一人一人が活かせるように支援している。また、季節ごとの行事を行い、外出する機会を作っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>天気の良い日は出来るだけ外で過ごすように支援し、利用者の気分や希望に合わせて散歩や買い物などに出かけている。</p>	<p>日常的には、一人ひとりの楽しみごとに合わせて、近隣の散歩や買い物など、戸外に出かけられるよう支援している。年間計画を立てて花見やミカン狩り・地域行事など、家族や地域住民も一緒に出かけている。外出状況を写真に撮り記録して、個人アルバムやホームたよりで家族にも見せている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人の能力や希望を家族等と相談しながら、できる限り本人に管理して頂いている。また、希望に応じて職員と一緒に買い物に行ったり、外出時に買い物をされたりしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人の希望に応じて家族へ電話をかけたり、はがきや手紙のやり取りができるように努めている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家事の音やにおい、昔なじみの音楽や季節の花を飾るなど季節感を感じられ、心地よく過ごせる工夫をしている。また、飾り物なども季節感を感じられるように工夫している。</p>	<p>玄関やテーブルに花が飾られ、天井が高く開放感があり明るい。壁には写真やちぎり絵が飾られ、和室があり木のぬくもりが感じられる。掃除も行き届き清潔感がある。昔懐かしいメロディーが流れて、居心地よく過ごせる工夫がされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>玄関やホール、中庭などにソファやベンチがあり、畳の談話室もあり、一人で過ごしたり、他の利用者とともに過ごせる場所がある。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>タオルケット、毛布など本人の使い慣れた物品を持ってきて頂いている。また、ぬいぐるみや家族や家族と一緒に撮った写真を飾るなどしている。</p>	<p>居室は、本人や家族と相談しながらタンスや毛布・写真・フォトフレーム等の馴染みの物や使い慣れた物が持ち込まれ、居心地よく過ごせるように工夫がされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>廊下やトイレ、浴室に手すりを設置し、苑内は段差なくバリアフリーとなっている。また、利用者の状況に応じて、居室内に畳を敷いたり、タンス・ベッドの配置を変更するなどの工夫をしている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない